

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第177号(2016.12.01発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【過去の CP 通信をご覧ください】: http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html

【CP / CS 3 学期 受講生 12 月 15 日まで募集中！】

【目次】

- ・巻頭言……広島経済大学 経済学部
経営学科 教授 広田 堅志
- ・3 学期 CP/CS 講座ラインナップ
- ・3 学期 キャリアアップ・プログラム 金曜日シラバスの紹介
 - 【ベーシック科目】 財務分析の基礎
 - 【ステップアップ科目】 時代を読み解くための経済統計
- ・経大見聞録
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経営学科

教授 広田 堅志

3 学期 CP 講師『実戦ビジネス中国語会話』

大学におけるグローバル人材の育成と語学教育のあり方について思うこと

近年、「グローバル化」という言葉はすっかり日本語に定着するようになりました。こうした世界的な「グローバル化」の流れの中で、「グローバル人材の育成を！」という熱い声がトップダウン方式で官庁から大学に指示され、それに加えて、企業からも大学に大きな期待が寄せられています。グローバル人材の定義については、これまで行われてきた様々な議論の中で必ずしも統一された概念としてあるわけではありませんが、その代表的な解釈として、「世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、

異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間」(文部科学省、産学連携によるグローバル人材育成推進会議、2011年4月)があります。

社会、経済、文化のグローバル化が急速に進展している中で、グローバル人材を育成するために、特に推進されているのは、英語力の向上と英語教育の早期化であります。これを具体化したものは、「グローバル化に対応した英語教育改革の実施計画」(文部科学省、2013年12月公表)が挙げられます。大学においても、お互いに競うように英語教育に力を入れています。こうした英語一辺倒の教育に少し違和感を感じています。なぜならば、「英語を話せること」と「グローバル人材を育成すること」とは本質的に違いがあると考えているからです。確かにグローバル社会において、コミュニケーションを図るための手段として、国際共通語としての英語を話せる重要性を否定するつもりはありません。しかし、それはあくまでも手段であり、目的ではありません。

確かに子供はすぐさまに発音を真似したり、論理的思考なしで臆せずに発話することに向いていますが、だからと言って英語教育は「早ければ早いほど良い」という単純な話ではありません。「グローバル化」という表面的な理念の下で中途半端な英語教育がやみくもに加速されてしまったら、真の「グローバル人材」を育成できないばかりではなく、母国語である日本語の教育がおざなりになってしまう危険性さえ残ります。

今のこの方向性には、英語指向に重視しすぎる問題とその裏にある足元のグローバル化への対応という二つの問題が気になります。英語指向に重視しすぎるということは、足元のグローバル化を視野に入れていないということとは表裏の関係になっています。例えば、私たちの身の回りの外国人は、何処の国から来られた方が多いだろうか、彼らはどのような言語を話しているだろうか、私たちは彼らのことをどれだけ知っているだろうか。彼らは日本や日本人のことをどれほど知っているのだろうか。日本や日本人との交流が盛んな国々はどこだろうか。こうしたローカルな視点からの「グローバル化」を見据えたうえで、それぞれの大学を取り巻く環境に合った差別化された「グローバル化」への対応が大事であると思います。大学の機能は、知的財産や研究成果を世に残すことや、大卒労働者を世に送り出すことだけではありません。世の中の様々な課題に直面し、それを解決するための独創的なアイデアとビジョンを生み出し、多様な問題に立ち向かえる人材を育てることも重要な役割であります。今後一層多様な文化的背景をもっている人々が生きる日本の社会において、如何に対応しなければならない課題への対応力を育てるかが、日本の大学にとって、喫緊の課題となりそうです。

また、グローバル社会で活躍するうえで重要なのは、論理的な思考能力や歴史的洞察力、豊かな創造力などの資質を具えなければならないことです。これらの資質を培っていくためには、初等教育から高等教育にかけて比較的長い時間を要します。しかも、これらの資質は主として母国語によって培われるものであると考えられます。幼少期から青年期にかけて、母国語を通じて個人のアイデンティティが形成される重要な時期であると同時に、日本人としてのアイデンティティである日本の伝統、文化、歴史を同期間中において習得しなければ、グローバルな社会に身が置かれたときに、自分と異なる環境(世界)の中で生きてきた人々と議論することもできないし、アイデンティティそのもの自体も確立したのものとして生成されません。教育現場にとって、母国語による基礎教育をしっかりと充実させ、母国語で物事を論理的に思考し、それを如何に分かりやすく相手に伝える能力を培ううえで、英語を含めた外国語教育を推進する方策をこれからも模索し続けることになりそうです。

広田先生(筆者ではありません!)曰く

「熊本より東京は広い。東京より日本は広い。日本より……」でちょっと切ったが、三四郎の顔を見ると耳を傾けてい

る。

「日本より頭の中のほうが広いでしょう」と言った。「とらわれちゃだめだ。いくら日本のために思ったって最良の引き返しになるばかりだ」

この言葉を聞いた時、三四郎は真実に熊本を出たような心持ちがした。同時に熊本にいた時の自分は非常に卑怯であったと悟った。

これは、夏目漱石の「三四郎」の中で、東京帝大に合格した主人公・三四郎が熊本から上京する汽車の中で教師の広田先生に出会うときの一節であります。

私たちは、もっと人間の頭の中の広さを信じよう。そして、もっと「思考」や「考える」トレーニングをしよう。「考える」ということに限って言えば、人間は広大な宇宙に優ると言っても過言ではありません。この「考える」ことこそが上記でいう理論的思考力や歴史的洞察力、豊かな創造性の育成につながっているし、これこそが国際社会で真に活躍でき、競争的環境を勝ち抜く能力をもつ人材の育成につながっていると信じています。

■3 学期の CP/CS 講座ラインナップ

キャリアアップ・プログラムには 3 つのレベルがあります。

エントリー(入門)科目	初めてチャレンジする分野のイメージをつかむ
ベーシック(基礎)科目	ビジネスの基本を再認識し基本をしっかり学び直す
ステップアップ(応用)科目	ワンランク上の自分になるためのひらめきをつかむ

現在、3 学期のキャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)の募集をしております。

講座名をクリックされるとシラバス(授業計画)が閲覧できます。

※受講料等の CP/CS の詳細は <http://www.hue.ac.jp/general/index.html> 『一般の方へ』からご覧ください。

※CP チラシに掲載してあります木曜日の『経営戦略論の基礎』講義は、講師都合により開講できなくなりました。

CP/CS 3 学期ラインナップ			
曜日	CP/CS	講座名	講義日(平成 29 年)
月曜日	CP	実戦ビジネス中国語会話	1 月 16・30 日 2 月 6・13・20・27 日
	CP	マーケティング演習	
火曜日	CP	日常生活を考える経済学入門	1 月 17・24・31 日 2 月 7・14・21 日
	CP	証券投資理論の基礎	
水曜日	CP	所得税法入門	1 月 18・25 日 2 月 1・8・15・22 日
	CP	実践的広告戦略の基礎	
	CS	台湾法史からみた「台湾のかたち」	
木曜日	CP	ケースメソッドで鍛える経営構想力	1 月 19・26 日 2 月 2・9・16・23 日
金曜日	CP	財務分析の基礎	1 月 20・27 日 2 月 3・10・17・24 日
	CP	時代を読み解くための経済統計	

※CP チラシに掲載してあります木曜日の『経営戦略論の基礎』講義は、講師都合により開講できなくなりました。

■3 学期金曜日の CP シラバスの紹介

【金曜日】 ベーシック科目

科目名	財務分析の基礎	
副題	財務会計情報を「深読み」したいあなたのために	
講義日	毎週金曜日 1/20、1/27、2/3、2/10、2/17、2/24…計6回	
対象者	新聞・雑誌などで取り上げられる各種財務指標(総資産利益率[ROA]、自己資本利益率[ROE]、流動比率、負債比率等)について、全くの初心者か、または体系だった勉強はしたことがなく中途半端な理解に止まっているような方を対象とします。「懇切丁寧な解説」がモットーですが、財務諸表(貸借対照表、損益計算書)の構造や役割に関しては初歩的な知識を予めお持ちいただいていることを念頭に授業を進めます。	
到達目標	個別の財務指標の意味を理解したうえで、各指標の相互関係を踏まえ、企業の総合的な評価を行う力を身につける。	
概要	貸借対照表や損益計算書などの財務諸表は「企業情報の宝庫」。一見無味乾燥な数字の羅列と思われがちな会計情報には、企業の誕生から今日に至るまでの活動が凝縮されています。本講座では、企業活動を活写する財務会計情報の具体的な分析手法を基礎から応用へと順を追って学ぶことで、企業経営の実態を解明するための実力を養成します。	
授業内容	第1回	ガイダンス、企業活動と財務会計情報
	第2回	収益性分析(1): 資産収益性(資産利益率)、取引収益性(売上高利益率)
	第3回	収益性分析(2): 効率性(資産回転率)、収益性指標の相互関係
	第4回	収益性分析(3): 損益分岐点分析、営業レバレッジ
	第5回	安全性分析: 流動性(短期返済能力)、健全性(調達・運用の安定性)
	第6回	財務分析の総括: 収益性と安全性の統合(自己資本利益率)
授業の形式	座学	
授業の進め方	講義(レクチャー)を主体に行います。授業中の質疑応答は時間の制約で難しいと思われるので、ご質問は基本的に授業終了後に受け付けます。	
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	本講座は1年おきに開講しており、今回で5度目です。『難しいことをわかりやすく』は私にとり永遠のテーマですが、受講生の皆様のご意見、感想などを参考に少しずつでも前進していきたいと思っています。講義では、財務会計情報をより身近なものとしていただくために、関連する新聞記事や実在する企業の財務データをタイムリーに取り上げながら、平明な解説を心がけたいと思います。	
講師紹介(自己紹介)	小谷 幸生 (おだに ゆきお) 経済学部 経営学科 教授 経済学部長 1951年福岡県生まれ。1974年東京大学経済学部卒業後、三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行。31年間の同行勤務のあと、2005年4月より、本学経営学科教授。銀行では、調査業務(企業・業界調査)、証券管理・起債関連業務、国際業務などに携わるとともに、この間、留学(シカゴ大学MBA)を含め9年間米国で勤務。幅広い角度から、内外の経済、企業経営を学ぶ機会を得る。本学では、主として会計系の応用科目(経営分析論、キャッシュフロー会計、管理会計論等)を担当。	

【金曜日】 ステップアップ科目

科目名	時代を読み解くための経済統計	
副題	経済統計を使った、応用的なデータ分析を仕事に活かしたいあなたのために	
講義日	毎週金曜日 1/20、1/27、2/3、2/10、2/17、2/24…計6回	

対象者	「確率・統計入門」(1 学期)、「確率・統計の基礎」(2 学期)をベースとしています。統計分析や EXCEL を基本とした PC 操作も含んでいるので、難解なイメージを持ってしまってもいけません。が、初学者にもできるだけ易しく進めていきます。
到達目標	1.ニュースで取り扱われている経済統計の理解を深められるようになります。 2.PC(特に EXCEL)の操作をしながら、経済統計の本質を知ることができます。
概要	ここ数年、空前の「統計学」ブームとなっています。しかし、統計学とは難しいそうとか、どう活用したらよいかとか、なかなか身近なものにするには距離はある人も多いと聞きます。EXCEL などでグラフを作成する人が得意な方もいらっしゃるでしょう。しかし、グラフから情報を読み解くだけではその一角を見ているに過ぎず、本質まで理解するには程遠いのです。このプログラムを通じて、一歩前に進んだ統計手法を身につけ、経済統計を身近な存在にしてみませんか？
授業内容	第 1 回 「確率・統計」の復習 ～分布の形・平均・標準偏差・相関係数・確率分布～
	第 2 回 経済分析の基本中の基本「国内総生産(GDP)」を理解しよう① ～三面等価の原則・名目と実質・年データと四半期データ～
	第 3 回 経済分析の基本中の基本「国内総生産(GDP)」を理解しよう② ～経済成長率・寄与度・寄与率～
	第 4 回 「ケインズ型消費関数」を実際に求めてみよう ～回帰分析の基本・可処分所得・消費支出～
	第 5 回 「見せかけの回帰」に惑わされるな！ ～回帰分析の応用・t 検定・時系列分析への誘い～
	第 6 回 シミュレーションで生み出したデータから有意な「回帰」結果が出る「怪奇」！ ～回帰分析の応用・全体のまとめ～
授業の形式	座学と演習併用
授業の進め方	前半では、経済統計を理解するための理論的な解説をします。 後半では、PC を実際に操作しながら、統計分析の基本をマスターしていきます。
教材費などの追加負担	【PC は各自でご持参ください】 教材の負担はありません。授業プリントの配布をします。 過去に「確率・統計入門」、「確率・統計の基礎」を受講されていた場合は、指定されていた教科書や授業プリントを持参いただければより理解度が深まると思います。
受講者へのメッセージ	経済統計に関する時事的な話題があれば、新聞やニュースなどを参考にしながら、受講者の「知りたい」情報を提供していきます。そのためにもたくさんの質問や疑問を投げかけてください。
講師紹介(自己紹介)	貫名 貴洋 (かんめい たかひろ) 経済学部 メディアビジネス学科 助教 1972 年広島県生まれ。2001 年広島経済大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。修士(経済学)。2002 年経済学科着任、2011 年メディアビジネス学科移籍。2009 年ガジャ・マダ大学(インドネシア)客員研究員。2011 年より本学内に設置されているコミュニティ FM ラジオ「FM ハムスター」の NPO 法人理事を務める。

■経大見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒープレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【11/18】第5回「国際スポーツサロン」を開催し、The Coca-Cola Company でグローバルディレクターを務めるアンバー・スティール氏にご講演いただきました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010318.html>

【11/25】平成28年度 興動館プロジェクト活動報告会開催のお知らせ

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000010326.html>

【11/30】「【中国・四国編】中四国大学ブランドランキング」で本学が9位にランクインしました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000010343.html>

【明德館】学生たちの自由なアイデア創造空間「明德館」

<http://www.hue.ac.jp/50th/meitokukan/>

【明德館ブログ】

<http://blog.meitokukan.hue.ac.jp/>

【キャンパスライフ】

<http://www.hue.ac.jp/life/index.html>

【クラブサークル活動】

<http://www.hue.ac.jp/life/circle/index.html>

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM